

3. ワークショップ(WS)・拡大ワークショップ(WS)のご案内

申込み締切日：2006年5月10日

WSは、9月2日(土) 9:15~11:45(16題)、14:00~16:30(19題)、9月3日(日) 9:15~11:45(14題)の開催です。

また拡大WSは、9:15~11:45(1題)、14:00~16:30(1題)、9月3日(日) 9:15~11:45(1題)の開催です。『敷居は低く間口は広く』して多くの方々が気楽に集まり、時間を共有したいと思います。

いずれも事前の参加申込みを原則とします。参加人数が制限されているWSは先着順とします。参加希望人数が極端に少ない場合は、中止になることがあります。

1 申込み方法

第16回年次集会のホームページ(<http://2006yokohama.or.tv/top.html>)からの申し込みを原則とします。WSリーダーと参加者との連絡をより緊密にするためご協力をお願いします。12ページから26ページまでのWS、拡大WSの案内を参考に、第2希望まで(各時間帯ごと)申し込んでください。同じ時間帯に実践プログラムも開催されますのでご注意ください。

インターネットによる申込みができない場合はFAX:045-316-5701(ジェイティービー団体旅行横浜支店 第16回日本外来小児科学会年次集会 係)まで用紙をご請求の上で、お申込み下さい。

なお、WS参加申し込みと一緒に、年次集会参加事前登録(本冊子「12. 参加登録/参加申込みの実際」をご参照下さい)もお願い致します。

2 参加WSの決定と通知

参加していただくWSおよび拡大WSは、5月下旬までに、お申込み時にお知らせいただいたメールアドレスに通知いたします。

担当：豊川達記(豊川小児科内科医院)

〒194-0001 東京都町田市つくし野2-18-18

FAX:042-796-1502

E-mail:ws@2006yokohama.or.tv

1. WSタイプ

A:意見を出し合ってproductを作るもの

B:すでにproductはあるが、参加者と討議しながら理解を深めるもの

C:AとBの中間型

2. 参加資格・条件、実費徴収、事前調査のあるWSがあります。「有」「無」とその内容をご確認ください。
3. 参加人数の制限のある場合はその人数が記載されています。制限なしの場合でも会場の収容人数を超える場合は入場できません。
4. 当日参加「可」の場合、定員まで参加可能ですが、定員に達している場合は、参加できないことがあります。当日参加「不可」の場合は前登録者のみ参加できます。

9月2日(土) 9:15~11:45

No.	テ - マ	リーダー
拡大 1	すてきなあなたになるために	岡空 輝夫
1	麻疹・風疹の予防接種制度の変更に際する問題点の検討	松浦 伸郎
2	禁煙支援はたのしく	野田 隆
3	亡くなられた患児の家族とのコミュニケーション (その 6)	千原 克
4	母乳育児支援のための口腔のケア (その 3)	濱野 良彦
5	あまえ療法 (その 3)	澤田 敬
6	小児科外来新人ナースの教育マニュアルを作りませんか (part 2) —健診でよくある質問に対するのマニュアル作り—	朝賀智恵子
7	アレルギー性疾患の予防は可能か? EBMの手法でガイドラインを吟味する	伊藤 純子
8	就学時健診を利用した予防接種率向上に向けて —その一年後の成果	松永 貞一
9	待合室のお片づけ	渡嘉敷智子
10	クリニックのお悩み解決 (その 1)	佐野 喜子
11	薬剤情報の提供を考える (その 6) ステロイド軟膏とタクロリムス軟膏	上荷 裕広
12	子どもの絵の読み方と活用法	白川佳代子
13	投薬時の備品について考えてみよう	齋藤 栄二
14	電子カルテ検討会開発プロジェクト作成電子カルテ ANNYYS	清水 健
15	安心と満足の予防接種	立川 美保
16	慢性の疾患や障害を持つ子どもたちへの総合的な外来支援	関口進一郎

9月2日(土) 14:00~16:30

No.	テ - マ	リーダー
拡大 2	すてきなあなたになるために	岡空 輝夫
17	子どもとメディア (メディア漬けの早期発見と脱出作戦)	内海 裕美
18	禁煙指導に役立つ資料	牟田 広美
19	外来で母乳相談をしてみませんか?	田村 吉子
20	言語聴覚士、臨床心理士、集まりませんか? (part III)	宮本 有里
21	第3回 ミニ調査研究方法検討会 (入門編)	伊藤 雄平
22	動物との生活を楽もう: コンパニオンアニマル・アニマルセラピー	村上 直樹
23	小児科外来の感染症を考える	草刈 章
24	複数ワクチンの同時接種を実施しよう	及川 馨
25	クリニックの労務管理を考えてみませんか	宮田 章子
26	医師・患者関係を考える	黒木 春郎
27	暖かい心のクリニックをめざして	目時さゆり
28	クリニックのお悩み解決 (その 2)	渡部寿美子
29	服薬指導への取り組み (その 5)	高橋 肇
30	9月3日 (日) に移動しました	
31	かかりつけ小児科医の機能強化について ~ 境界領域関連他科との連携について	森 茂
32	地域の中の未来の小児科医院のあり方を考える!!	村上 博

9月2日(土) 14:00~16:30

No.	テ - マ	リーダー
33	外来待合室における看護 (その3)	吉本 陽子
34	小児科医と絵本 (その3)	北原 文徳
49	来て・見て・触って! 病児保育室!	斎藤 結花

9月3日(日) 9:15~11:45

No.	テ - マ	リーダー
拡大 3	すてきなクリニックになるために	山本 淳
35	こだわりの“イメージづくり”	倉重 弘
36	乳幼児健診でリサーチをしてみませんか	伊藤 智子
37	「第2回 電話応対コンクール」に参加しませんか?	沖原 由起
38	待合室でのプリパレーション ~くすりぎらいのこどもたちに	梶原香菜子
39	外来診療に家族学の知識と技術を導入してみよう	原 朋邦
40	小児科外来活動から地域支援活動へ (その3)	倉信 均
41	外来診療場面のストレスをコメディカルスタッフの視点でリサーチしてみよう	後藤 敦子
42	学校医は学校へ行こう! 一学校保健・地域保健との連携・協力	岩田 祥吾
43	あなたの声を聴きたくて 一子育て相談や親の不安へのカウンセリング的対応を学ぶ (パート3)	河村 一郎
44	子どもの睡眠障害 (その3)	荻野 高敏
45	外来に保育士の必要性は?興味と疑問のあるあなたと語りあおう!!	園田あつ子
46	小児科外来における子育て支援の可能性 一保育士と共につくる乳幼児健診	後藤 洋一
47	full of smile 一笑い溢れる外来にしませんか	木川 直美
48	外来で学生や研修医をいかに教えるか	関口進一郎
30	診察技法をもう一度考えよう2 (人のふり見て我ふり直せ)	藤田 位

(注意) 拡大 WS 1 と 2 は同じ内容です

9月2日(土) 9:15~11:45 <1>

拡大 WS 1	すてきなあなたになるために (心を開き心をつなぐ人間関係づくり、パート6)		
(拡大WS2と同じ内容です)		岡空輝夫(医) 藤林伸助(医) 町田 孝(医)	
<p>患者さんと向き合う医師および医療関係者は、患者さんの心を受け止めることが求められていますが、医療人のプロ意識を支えるのは豊かな人間性にほかなりません。医師や医療関係者が生涯にわたり社会的責任を全うしていくには、豊かな人間性が土台にないといけません。</p> <p>鳥取大学医学部では、これまでも人間性尊重を教育理念に掲げ教育を行ってきていますが、昨年から高塚人志助教授(前、鳥取県立赤碕高校教諭)が中心になって、一段と高いレベルの人間性教育(ヒューマン・コミュニケーション)を始め、全国的にも注目を集めています。学内でコミュニケーション能力を高める「気づきの体験学習」を行ったあと、学外で保育園児との継続的な交流を通して、「役立ち感」「自己肯定感」「自尊心」「コミュニケーション力」を育み、「人間関係術」を自らが会得し、人間成長していくという狙いです。医師の人間性教育を求める声が全国的に高まる中で、鳥取大学から始まった「人間力を育む学習プログラム」が、患者さんの心の痛み、喜びに寄り添える医師を育てる大きな力になると期待されています。</p> <p>その高塚さんを講師に招き、過去5年の本学会で好評だったWSの6回目を拡大WSとして行います。大学や研修会などで行っている、コミュニケーション能力を高める「気づきの体験学習」を中心に展開する予定です。</p> <p>今までのWS参加者から次のような感想も寄せられています。</p> <p>事務：今日参加して、人間のあり方、相手への思いやり、すばらしいことを学びました。家庭に帰ってから自分の子ども達とコミュニケーションをとってみたいと思います。職場でも試してみたいと思います。すばらしい1日をありがとうございました。</p> <p>看護師：はじめて参加させていただきました。人と触れあうことで、自分の気づきになることができました。自分がしてもらって嬉しいこと、それを相手に表現できれば良いなあと思いました。私の話を真剣に聴いてくれたことが嬉しかったです。話を聴いて下さった3人には感謝です。また参加したいと思いました。</p>			
WSタイプ：B	事前調査：有	実費徴収：有(2,000円を予定)	当日参加：不可
参加資格・条件・人数：職種は全く問いません。多くの方の御参加をお待ちしています。			

1	麻疹・風疹の予防接種制度の変更に際する問題点の検討		
松浦伸郎(医) 川島 崇(医) 及川 馨(医)			
<p>麻疹・風疹に関する予防接種制度が平成18年度より変更される。MR ワクチンとなり2回接種となる予定であるが、制度変更に関しては大きな問題を抱えているといわざるをえない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成17年度に未接種者に対する勧奨をどのように行い、未接種者には平成18年度以降どのように対応しているか。 2. 麻疹および風疹のいずれかの予防接種を受けた者等の取り扱い。 3. 経過措置について。 4. 健康被害への対応。等について検討したい。 			
WSタイプ：A	事前調査：有		
実費徴収：有	当日参加：不可		
参加資格・条件・人数：医師に限る。			

2	禁煙支援はたのしく		
野田 隆(医) 田草雄一(医) 佐々木正人(医)			
<p>子どもをタバコの害から守ることは、外来小児科が大きく貢献できるし、また社会より負託されていると考えます。</p> <p>子どもを受動喫煙・能動喫煙から守るために、本会のメンバーの実践されたことを学び、これから禁煙支援をしようとする人への道標を整備するWSにしたい。</p> <p>また、学校で喫煙者が見つかったときの対応を、奈良県での先進的な制度を元に、学校・保健所・学校医を含む医師会や学校薬剤師を服務薬剤師会との連携・協働について討議する。</p>			
WSタイプ：C	事前調査：有		
実費徴収：有	当日参加：可		
参加資格・条件・人数：制限なし。40人程度まで。			

WSのタイプ A：意見を出し合って product をつくるもの
 B：参加者と討議しながら理解を深めるもの
 C：AとBの中間型

9月2日(土) 9:15~11:45 <2>

3	亡くなられた患児の家族とのコミュニケーション (その6)
千原 克(医)	
<p>これまでに5回、このテーマでワークショップを行って来ました。第1回から「インフルエンザ脳症の会 小さないのち」代表の坂下裕子様のご協力により、同会の会員の方のアンケートや手記などをご紹介いただき、我々、医療従事者が、これまで知り得なかった亡くなられた患児の御家族の心の声を聞き得ることができました。また、第3回から「亡くなられた患児の家族とのコミュニケーションのガイドライン」作成を始めました。先回は複数の家族会の方々にご参加をいただき、充実した討論を行うことができました。グリーフケアは、いくらでも話し合われるべきテーマであると思います、今回もワークショップを開こうと考えました。</p>	
WSタイプ：B	事前調査：無
実費徴収：無	当日参加：可
<p>参加資格・条件・人数：制限なし。医療従事者だけでなく、患者様やご家族にも参加可能な形にできないかと考えています。30人程度まで。</p>	

4	母乳育児支援のための口腔のケア (その3)
濱野良彦(歯) 佐々木洋(歯)	
<p>初回のWSでは、異業種間に見られる母乳育児支援に関する相違点をまとめ、昨年の2回目には、授乳継続に関する課題、つまり子どもの欲しがるだけ母乳(ミルク)を与える意義と問題を明確にすることで、母乳育児支援の対応策を検討した。とかく歯科医師が考える母乳育児支援は虫歯と母乳の関連性に焦点を当てる傾向にあるが、このWSでは乳歯の虫歯はさておき、母乳育児に始まる食生活において、いかにして食の楽しさや大切さを次世代に伝えていくかといった大テーマがあります。食のスタートである母乳育児に関する支援を行うに際して、異業種間にみられる共通の問題点に同じように対処できる方法をプロダクトするものです。今回は3回目ですが、今回が初めての参加者も大歓迎です。自由に語り合う中から新鮮なプロダクトが可能になると信じています。お待ちしております。</p>	
WSタイプ：A	事前調査：無
実費徴収：無	当日参加：可
<p>参加資格・条件・人数：制限なし。20人程度まで。</p>	

5	あまえ療法 (その3)
澤田 敬(医) 新津直樹(医) 小池茂之(医)	
<p>あまえ子育ては日本独特な子育て文化である。子どもの心の成長、治療に役立つあまえを、大人の甘え(土居)と区別して平仮名で「あまえ」とし(澤田)、「子どもが信頼する人物に、全身の感覚器官(触覚、視覚、聴覚、味覚、臭覚、深部感覚)を使って、自主的に接近してゆく行動とする。度の過ぎた金銭・品物は心の成長、治療に害になる。」と定義した。あまえ療法は乳幼児・学童の心身症・異常行動、虐待等によるトラウマの治療に非常に有効であり、子どもが好きな人は誰でも出来る。養育者が治療者になり、病院スタッフは養育者を支える。過去2回のWSも好評で、継続希望者が多かった。今回も事例を通じてあまえ療法に付いて検討したい。事例を募集します(どのような事例でも結構です)。</p>	
WSタイプ：B	事前調査：無
実費徴収：無	当日参加：可
<p>参加資格・条件・人数：制限なし。40人程度まで。</p>	

6	小児科外来新人ナースの教育マニュアルを創りませんか (part2) —健診でよくある質問に対してのマニュアル創り—
朝賀智恵子(看) 桜井淑子(看) 中村好枝(看)	
<p>小児科外来でチーム医療を実践するためには、各ナースが共通の知識と同レベルのスキルを持つ必要がある。このWSでは、新人ナースに対して先輩ナースが効率的に知識、技術を教育できるようマニュアルを作成する。昨年に引き続き今年もPart2として、乳幼児健診で母親からよく受ける質問や相談事について、それぞれの工夫を持ち寄り討論し明日から使えるマニュアルを作りたい。</p>	
WSタイプ：A	事前調査：有
実費徴収：無	当日参加：不可
<p>参加資格・条件・人数：看護師、准看護師に限る。40人程度まで。</p>	

職種略号一覧

(医)医師 (歯)歯科医師 (看)看護師 (薬)薬剤師 (保)保健師
(育)保育士 (事)事務系 (心)心理士 (栄)栄養士 (他)その他

9月2日(土) 9:15~11:45 <3>

7	アレルギー性疾患の予防は可能か？ EBMの手法でガイドラインを吟味する	
	伊藤純子(医) 五十嵐正紘(医) 加地はるみ(医) 志田健二(医) 古川 裕(医) 前原幸治(医) 宮田章子(医)	
<p>「自分がアトピーなので、こどもがアレルギーの病気にならないためにはどうしたら良いでしょう」と出産したばかりのお母さんに聞かれたら、あなたはへと答えますか？自分の経験や、本の記述をもとに答えることはできますが、それは本当に正しいのでしょうか？</p> <p>臨床の場面で判断に迷ったときの助けになる有効な方法が EBM (Evidence-Based Medicine) です。EBM に基づく文献やガイドラインの探し方、その批判的な吟味のしかたを実践したいと思います。</p>		
WSタイプ：B		事前調査：有
実費徴収：無		当日参加：可
参加資格・条件・人数：制限なし。30人程度まで。		

8	就学时健診を利用した予防接種率向上に向けて —その一年後の成果	
	松永貞一(医) 岩田祥吾(医) 三輪操子(医) 桑折紀昭(医)	
<p>予防接種率の向上は、官民共通の関心であり願いである。この目的達成のため、「就学时健診を利用した予防接種率向上」のための働きかけは非常に有用なものと思われる。しかし、平成14年に文科省より「13文科ス第489号」という本件に関する通知が出ているにも関わらず、いまだにその重要性は十分に認識されていない。昨年の本学会では、このテーマについて検討した。その内容は「外来小児科」2005年4号465~467頁に掲載されている。我々は、本年もこのテーマに関するWSを行い、全国からの発表を通し、この一年でどのような変化があったか、また、就学时健診での予防接種率の向上を阻害している要因は何か、その問題解決にはどのような手立てがあるかなどを皆で考えてみたい。故人曰く、継続は力なり。</p>		
WSタイプ：C		事前調査：無
実費徴収：無		当日参加：可
参加資格・条件・人数：制限なし。30人程度まで。		

9	待合室のお片づけ	
	渡嘉敷智子(事) 小山内美佳(看) 野澤始枝(事) 宮本梨沙(事) 尾上信子(看) 橋本節子(看) 山崎礼子(看) 岡本くみ子(看)	
<p>小児科の待合室は、絵本・おもちゃ・各種パンフなどにあふれています。診療の終わったあとの待合室は、絵本・おもちゃとスリッパや子どもたちのイタズラしたパンフの散乱し、とりあえず片づけられた本棚の絵本もゴチャゴチャです。絵本は、ビリビリのこともあります。</p> <p>今回、WSでは待合室が、いつも整理整頓しやすいディスプレイ法やおもちゃ箱の工夫など、さらにやぶれない(やぶられない)絵本対策など考えたいと思います。また、子ども達や親たちへの有効な掲示(文章)法を考えたい。</p> <p>施設の問題点とその対策・解決法があれば、おたがいの経験を参考にして語り合い、各施設に持ち帰ることを目的にしたいと思っています。</p>		
WSタイプ：C		事前調査：有
実費徴収：有		当日参加：不可
参加資格・条件・人数：医師以外に限る。1施設2人まで。30人程度まで。		

10	クリニックのお悩み解決(その1)	
	佐野喜子(事) 三雲弘美(事) 門澤香織(事)	
<p>待合室/診察室/受付などで困ったことはありませんか。これはうちだけのこと?他の医療機関はどうしているの?など日頃悩んでいること疑問に思っていることをざっくばらんに情報交換してみませんか。グループに分かれて、レセプト、会計業務、窓口対応、電話対応など各項目についてそれぞれ話し合えたらと思います。このワークショップで定義された内容については、ワークショップ28(その2)で更に対応策を討議したいと思います。</p>		
WSタイプ：C		事前調査：有
実費徴収：有		当日参加：不可
参加資格・条件・人数：事務に限る。30人程度まで。		

WSのタイプ A：意見を出し合って product をつくるもの
B：参加者と討議しながら理解を深めるもの
C：AとBの中間型

9月2日(土) 9:15~11:45 <4>

11	薬剤情報の提供を考える(その6) ステロイド軟膏とタクロリムス軟膏	
	上荷裕広(薬) 熊谷直樹(医) 木下博子(薬)	
<p>小児科外来において薬剤情報提供はいかにあるべきかを主題に今回6回目のWSを行う。今回採り上げる薬剤は「ステロイド軟膏」と「タクロリムス軟膏」である。従来の薬効説明を中心としたものではなく、より適切な使用を促すことを主眼に検討したい。「ステロイド軟膏」についてはいまだ不安を持つ保護者が多く適切に使用されていないケースもあることから、使用方法や副作用を中心に保護者に不安を与えない薬剤情報文書を作成したい。また最近発売された「タクロリムス軟膏」についても同様に、適正使用がなされるようにおこり得る副作用も表記し、保護者に理解されやすい文書作成を目指したい。</p>		
WSタイプ：A		事前調査：有
実費徴収：有		当日参加：不可
参加資格・条件・人数：制限なし。30人程度まで。		

12	子どもの絵の読み方と活用法	
	白川佳代子(医)	
<p>子どもは絵を描くのが大好きです。言語発達の未熟な子どもたちが非言語的な媒体を好むのもうなづけます。診察机の上のクレヨンと紙を見つけて子どもの目がどんなに輝くか、ごらんになったことがありますか。</p> <p>本ワークショップでは、小児科外来で絵を用いることで、子どもの心の内を想像したり、治療的に活用するための方法を探っていきたいと思います。</p> <p>ワークショップの進行は、まず描画療法の基本についてお話し、次いで絵をコミュニケーションの媒体として用いるための具体的な方法について話し合い、さらに実際に絵を描く体験を通して絵を読むことの面白さや難しさを討議しながら、理解を深めたいと思います。</p>		
WSタイプ：B		事前調査：無
実費徴収：無		当日参加：不可
参加資格・条件・人数：制限なし。20人程度まで。		

13	投薬時の備品について考えよう	
	齋藤栄二(薬) 三浦哲也(薬)	
<p>投薬する際には投薬瓶、軟膏壺、吸入補助器、スポイトなど多くの備品を同時に渡す事になります。患児あるいは保護者にとって、使いやすく、そして安全性の高いものを皆さんで当日検討したいと考えております。事前調査として、現在使用している物について、満足している点、今後改良して欲しい点などを、患者さんの意見も含めてリサーチします。何回も検討された事かもしれませんが、このワークショップを通して、一つでも新しい発見ができればと思い企画してみました。流通や取引先の関係上、目にしたこともない商品が出回っていると思います。また、実際に考えもしなかった、使い方をしている患者さんが、いるかもしれません。みなさんの知恵と情報を持ち寄ってみませんか？</p>		
WSタイプ：C		事前調査：有
実費徴収：有		当日参加：可
参加資格・条件・人数：制限なし。30人程度まで。		

14	電子カルテ検討会開発プロジェクト作成 電子カルテ ANNYYS	
	清水 健(医) 中山裕雄(医) 檜崎 修(医) 山口秀人(医) 山本康仁(医)	
<p>電子カルテ検討会が発表した「電子カルテが持つべき機能」を重視しながら、小児科医が使いやすい電子カルテを目指して、2003年のWSで発表。ファイルメーカー Ver7.0に対応した「ANNYYYS エニーズ」を2005年WSで発表。これまでは実際に使用できなかったが、今回は、WSの時に使用経験発表も予定。間違いが少ない診療を目指している。ORCA RSBBase との連携のほかには、医療用医薬品添付文書情報のファイルメーカーでの利用も可能。キーボード入力を少なくして、なるべくマウス操作で入力できるように心がけた。紹介状もボタンで一つ原型が作成できる。ファイルメーカー Ver8.0とノートパソコンが必要。</p>		
WSタイプ：B		事前調査：無
実費徴収：有		当日参加：可
参加資格・条件・人数：制限なし。30人程度まで。		

職種略号一覧

(医)医師 (歯)歯科医師 (看)看護師 (薬)薬剤師 (保)保健師
(育)保育士 (事)事務系 (心)心理士 (栄)栄養士 (他)その他

9月2日(土) 9:15~11:45 <5>

15 安心と満足の予防接種	
立川美保(看) 木下真由美(医) 津崎さおり(看)	
<p>本ワークショップは、予防接種に対する保護者の不安の軽減を図る指導方法の確立を目指している。ワークショップにおいて、各施設での指導方法を持ち寄り、その方法が保護者の不安軽減に有効であるかなど検討を重ね、リーフレットの作成など、指導用のツールを検討・考案したい。第1回目の今回は、各施設における相談内容をもとに、予防接種に対する保護者の不安を把握し、それに対する各施設での指導方法を出しあい、有効な指導方法を検討したい。</p>	
WSタイプ：A	事前調査：有
実費徴収：有	当日参加：不可
参加資格・条件・人数：看護師に限る。20人程度まで。	

16 慢性の疾患や障害を持つ子どもたちへの総合的な外来支援	
関口進一郎(医)	
<p>医療の進歩とともに、慢性の疾患や障害を持つ子どもたちが増えています。彼らの問題は複数の臓器系にまたがり、また、身体医学的側面と心理社会的側面を合わせ持つことが多いようです。彼らと家族は、専門医の診療を受けながらも、実際には自分たちが抱えている心配ごとや問題を相談できずに困っていることが少なくありません。彼らの健康のために、医療者はどのような援助ができるでしょうか。彼らを支援するうえで我々が克服しなければいけない課題は何でしょうか。参加される皆さまとともに幅広く考えてみたいと思います。</p> <p>このテーマで開く初めてのワークショップですが、全員が討論に参加した実感が持てるような時間にしたいと思います。皆さまのご参加をお待ち申し上げます。</p>	
WSタイプ：C	事前調査：有
実費徴収：有	当日参加：可
参加資格・条件・人数：制限なし。20人程度まで。	

WSのタイプ A：意見を出し合って product をつくるもの
 B：参加者と討議しながら理解を深めるもの
 C：AとBの中間型

9月2日(土) 14:00~16:30 <1>

拡大WS2	すてきなあなたになるために（心を開き心をつなぐ人間関係づくり、パート6）		
（拡大WS1と同じ内容です）		岡空輝夫(医) 藤林伸助(医) 町田 孝(医)	
<p>患者さんと向き合う医師および医療関係者は、患者さんの心を受け止めることが求められていますが、医療人のプロ意識を支えるのは豊かな人間性にほかなりません。医師や医療関係者が生涯にわたり社会的責任を全うしていくには、豊かな人間性が土台にないといけません。</p> <p>鳥取大学医学部では、これまでも人間性尊重を教育理念に掲げ教育を行ってきていますが、昨年从高塚人志助教授（前、鳥取県立赤碕高校教諭）が中心になって、一段と高いレベルの人間性教育（ヒューマン・コミュニケーション）を始め、全国的にも注目を集めています。学内でコミュニケーション能力を高める「気づきの体験学習」を行ったあと、学外で保育園児との継続的な交流を通して、「役立ち感」「自己肯定感」「自尊心」「コミュニケーション力」を育み、「人間関係術」を自らが会得し、人間成長していくという狙いです。医師の人間性教育を求める声が全国的に高まる中で、鳥取大学から始まった「人間力を育む学習プログラム」が、患者さんの心の痛み、喜びに寄り添える医師を育てる大きな力になると期待されています。</p> <p>その高塚さんを講師に招き、過去5年の本学会で好評だったWSの6回目を拡大WSとして行います。大学や研修会などで行っている、コミュニケーション能力を高める「気づきの体験学習」を中心に展開する予定です。</p> <p>今までのWS参加者から次のような感想も寄せられています。</p> <p>事務：今日参加して、人間のあり方、相手への思いやり、すばらしいことを学びました。家庭に帰ってから自分の子ども達とコミュニケーションをとってみたいと思います。職場でも試してみたいと思います。すばらしい1日をありがとうございました。</p> <p>看護師：はじめて参加させていただきました。人と触れあうことで、自分の気づきになることができました。自分がしてもらって嬉しいこと、それを相手に表現できれば良いなあと思いました。私の話を真剣に聴いてくれたことが嬉しかったです。話を聴いて下さった3人には感謝です。また参加したいと思いました。</p>			
WSタイプ：B	事前調査：有	実費徴収：有（2,000円を予定）	当日参加：不可
参加資格・条件・人数：職種は全く問いません。多くの方の御参加をお待ちしています。			

17	子どもとメディア （メディア漬けの早期発見と脱出作戦）
内海裕美(医) 渋谷好孝(医) 佐久間秀人(医)	
<p>子どものメディア漬けの実態調査の結果および子どもの体と心の問題に現実から、メディア漬けによる子どもの心身の発達への悪影響が懸念されています。小児科医は外来および地域でこの問題に取り組む必要があると考えます。メディア接触の実態調査から問題提起、そしてメディア漬けから脱出させる方法とその効果など具体的な行動指針を作成するためのWSです。日々の診療現場でメディア漬けを見つけるには何をすればいいのか。見つけたらどう対応すべきか。今回はまずわかっている実態や影響を提供し共通の認識でスタートさせるためのものとなります。各参加者に外来での調査もしていただく予定です。</p>	
WSタイプ：C	事前調査：有
実費徴収：有	当日参加：不可
参加資格・条件・人数：医師に限る。40人程度まで。	

18	禁煙支援に役立つ資料
牟田広実(医) 野田 隆(医)	
<p>禁煙支援に役立つ資料はいっぱいあります。実際に禁煙支援を行っている方も、これからやってみたく方も、これらの資料を使って、「楽に」「楽しく」「効果のある」支援を行ってみませんか？このWSでは、禁煙支援に役立つ資料を参加者の皆さんに提供して頂き、欲しいと思われたものはその場でお持ち帰りいただき、その後の禁煙支援に役立てていただこうと思っています。もちろん、「私はそんな資料はもっていないけれど、資料は欲しい」という方や、「当日は参加できないけれど、資料の提供はできます」という方も大歓迎です。</p>	
WSタイプ：C	事前調査：有
実費徴収：有	当日参加：可
参加資格・条件・人数：制限なし。30人程度まで。	

職種略号一覧

(医)医師 (歯)歯科医師 (看)看護師 (薬)薬剤師 (保)保健師
(育)保育士 (事)事務系 (心)心理士 (栄)栄養士 (他)その他

9月2日(土) 14:00~16:30 <2>

19 外来で母乳相談をしてみませんか？	
田村吉子(助) 加藤正恵(助)	
<p>産科退院後は、母乳に関して情報提供ができる小児科はほとんどない状況で、正しい情報提供や有効な対応のできる専門家に会う機会のないまま過ごす母親も多いと言えます。そうすると情報化社会とはいえ情報収集が雑誌やテレビといったものに偏りがちになり母乳育児については得られる情報が少なく、あったとしても個別な問題やトラブル、問題とまではいかない小さな心配事や不安などへの有効な情報を得られる機会はとてま少なくなります。昨年にひきつづきこのテーマで小児科医だけでなく外来に関わる全ての方が個々の職種を生かしつつ自分の経験もふまえてどう母親に関わり支援していったらよいか話し合いました。</p>	
WSタイプ：B	事前調査：有
実費徴収：有	当日参加：可
参加資格・条件・人数：制限なし。20人程度まで。	

20 言語聴覚士、臨床心理士、集まりませんか？ (part III)	
宮本有里(心) 緒方祐子(他)	
<p>小児科で勤務する言語聴覚士や臨床心理士が集い、日頃の臨床活動について語り合います。過去2回のWSでは、一人職場での悩み、他職種との連携のあり方、地域のニーズにどう応えていくか等について、各クリニックの特色をふまえながら語り合いました。また前回のWSでは、発達障害児の一事例をみながら、子どもにどう関わっていくのかということについても意見交換しました。</p> <p>今回も、事例をあげて頂きながら、様々な取り組みについて意見を交わしたいと思います。お気軽にご参加下さい。尚、事前調査として、簡単な自己紹介文の提出とアンケートへの回答をお願い致します。</p>	
WSタイプ：B	事前調査：有
実費徴収：無	当日参加：可
参加資格・条件・人数：言語聴覚士、臨床心理士に限る。20人程度まで。	

21 第3回ミニ調査研究方法検討会(入門編)	
伊藤雄平(医) 杉村 徹(医)	
<p>調査研究方法検討会はリサーチ委員会に属し、年3回開催しており、希望の方にご案内しています。会員みなさんのリサーチ活動のお手伝いをしております。</p> <p>昨年に引き続き、入門編として、第3回ミニ検討会を開催致します。どんな事をしているのか知ってもらい、リサーチを、より身近に感じてもらえれば幸いです。日常診療でのちょっとした疑問や、アイデア、再検討したい研究内容などありましたらご連絡下さい。この会で取り扱うテーマ内容や研究の段階には制約がなく、研究のアイデアの段階から結論に至ったものまで幅広く扱っています。ふとした疑問が、新しい発見や研究への第一歩です。この機会を是非ご利用下さい。ラウンドテーブル形式で自由に討論を行います。一般の学会発表と違い、素朴な疑問を自由に質問、検討できる会です。演題なしでの参加も大歓迎です。もっと気楽にリサーチしてみませんか。</p>	
WSタイプ：C	事前調査：無
実費徴収：無	当日参加：可
参加資格・条件・人数：制限なし。20人程度まで。	

22 動物との生活を楽しもう —コンパニオンアニマル・アニマルセラピー—	
村上直樹(医) 中野康伸(医)	
<p>犬や猫、そして色々な動物たちが愛玩動物(ペットアニマル)のみならず、伴侶動物(コンパニオンアニマル)として、子どもたちの生活の中にも深く浸透し、強く根付いている。このような状況下で、動物たちと心の交流を保ちながら、健康に楽しく過せるために必要な術を専門家から学びたい。同時に、動物とのふれあい、交流によって精神と肉體機能を向上させるアニマルセラピーを乗馬療法を通して、脳性まひや心身症のリハビリを知って理解を深めたい。</p>	
WSタイプ：B	事前調査：無
実費徴収：有	当日参加：可
参加資格・条件・人数：制限なし。40人程度まで。	

WSのタイプ A：意見を出し合って product をつくるもの
 B：参加者と討議しながら理解を深めるもの
 C：AとBの中間型

9月2日(土) 14:00～16:30 <3>

23	小児科外来の感染症を考える
草刈 章(医) 武内 一(医) 深澤 満(医) 西村龍夫(医) 吉田 均(医)	
<p>前半は小児科外来で遭遇するさまざまな感染症の診断や治療、合併症などについて、その経験や研究など、気軽に発表し、意見交換の場とします。感染症の種類は限定しません。希有な1例報告や失敗談も歓迎です。3～4人の発表者を予定しています。1題につき発表5分、討論15分の予定です。</p> <p>後半はRSV感染症について、研究発表や意見交換を行います。これについての研究や経験などを披露して下さい。2～3人の発表者を予定しています。発表と討論合わせて1題20～25分です。</p>	
WSタイプ：C	事前調査：無
実費徴収：無	当日参加：可
参加資格・条件・人数：制限なし。30人程度まで。	

24	複数ワクチンの同時接種を実施しよう
及川 馨(医) 藤岡雅司(医)	
<p>WHOの拡大予防接種計画でも採用されており、諸外国では標準的なワクチン接種方法である複数ワクチンの同時接種が、わが国ではほとんど実施されていない。定期の予防接種実施要領には「医師が特に必要と認めた場合に行うことができる」と記載されており、医師の裁量に委ねる旨が明記されている。しかし、市町村が厚生労働省に照会すると消極的な回答しか返ってこない。前回の年次集会では「同時接種を考える」として、参加者の自由な意見交換を行った。今回は一歩進めて「同時接種を実施しよう」と題し、実際に同時接種を実施していく上での問題点や経験を共有し、わが国で同時接種を推進していく原動力となるWSとなるようにしたい。</p>	
WSタイプ：C	事前調査：有
実費徴収：無	当日参加：可
参加資格・条件・人数：医師に限る。30人程度まで。	

25	クリニックの労務管理を考えてみませんか
宮田章子(医) 佐藤順一(医)	
<p>クリニックの運営で避けて通れないのは労務管理。小児科クリニックの医師としての仕事はたのしいんだけど、これが大変という声をよくききます。各自の組織の労務上の問題点や失敗例などを話してみたいと思います。自院のものやアイデアを持ち寄って雇用とその管理などを考えてみませんか？そして小児科クリニック労務管理マニュアルを作成していくことが目標です。</p>	
WSタイプ：A	事前調査：有
実費徴収：有	当日参加：不可
参加資格・条件・人数：病院の管理者または労務担当の管理職に限る。30人程度まで。	

26	医師・患者関係を考える
黒木春郎(医) 涌水理恵(看) 五十嵐正紘(医)	
<p>医療の基盤は医師（医療従事者）と患者間の関係にあると考える。ここには両者の意志疎通、疾病解釈など多様な問題点が想定される。一方、これまで小児科診療における医師・患者関係の検討は十分なされてきたとは言えない。この関係形成過程の解明が医療の質の向上につながると考え、今回のワークショップを企画した。こうした、ヒューマンサービス領域・社会的相互作用における数量化困難な側面を解析する手法として、質的研究手法が注目されている。本ワークショップでは、具体的な事例を質的研究手法などを用いて解析し、問題点を明らかにして、今後の研究課題へつなげることを目的とする。</p>	
WSタイプ：A	事前調査：無
実費徴収：無	当日参加：可
参加資格・条件・人数：制限なし。30人程度まで。	

職種略号一覧

(医)医師 (歯)歯科医師 (看)看護師 (薬)薬剤師 (保)保健師
(育)保育士 (事)事務系 (心)心理士 (栄)栄養士 (他)その他

9月2日(土) 14:00~16:30 <4>

27 暖かい心のクリニックをめざして	
目時さゆり(薬) 島田鶴代(看) 横田佳余子(他)	
<p>本当のやさしさとは、何でしょうか？ 忙しさに追われ、人間としての温かさや思いやりが希薄になってきている現代、暖かい雰囲気 のクリニックづくりをもう一度見直してみませんか？目に見えるところは、いくらでも美しく整える ことができます。目に見えないところに目を向けることで、本当に大切なものが見えてくるよう な気がします。先生のめざす理想のクリニックにするため、日々試行錯誤しながら努力している皆 さん、心を開いて一緒に語り合ってみませんか？患者さんのため、先生のため、スタッフのため、 私たちに何かできるかを考えてみましょう。このWSで、一筋の光を見出せたらと思っています。</p>	
WSタイプ：B	事前調査：無
実費徴収：有	当日参加：可
参加資格・条件・人数：小児科開業医婦人に限る。30人程度まで。	

28 クリニックのお悩み解決 (その2)	
渡部寿美子(事) 三雲弘美(事) 齋藤 香(事)	
<p>待合室／診察室／受付などで困ったことはありませんか。その2ではその1 (WS10) で皆さん からあげられたレセプト、会計業務、窓口対応、電話対応などの問題点、疑問点について、引き続 きグループに分かれて皆さんで意見交換をしたいと思えます。コメディカルの立場で実際に活用出 来る解決方法をみつけられたらと思っています。</p>	
WSタイプ：C	事前調査：有
実費徴収：有	当日参加：不可
参加資格・条件・人数：事務に限る。30人程度まで。	

29 服薬指導への取り組み (その5)	
高橋 肇(医) 堀江浩一(薬) 高橋めぐみ(薬)	
<p>今回は1、気管支喘息の吸入療法、特に長期管 理薬（吸入ステロイド、インターール吸入、セレベ ント吸入）の患者調査とコンプライアンスをあげ る工夫。2、水薬と散薬の使い分けについて、各 薬局または病院の現状と対応についての話し合い。 3、母親だけでなく患者（3歳以上）への指導の 工夫などについて事前アンケートをとって話し合 う予定です。年に一回のWSですので始めて の方でも疑問点がありましたらどうぞご参加下 さい。</p>	
WSタイプ：C	事前調査：有
実費徴収：有	当日参加：可
参加資格・条件・人数：制限なし。40人程度まで。	

31 かかりつけ小児科医の機能強化について ～境界領域関連他科との連携について～	
森 茂(医) 岡藤隆夫(医)	
<p>小児科医がかかりつけ医としての機能を十分に 発揮するためには、境界領域関連他科との連携の 仕方も重要である。新生児期の諸問題については 産科、鼻炎、中耳炎は耳鼻科、とびひ、湿疹、ア トピー性皮膚炎は皮膚科、結膜炎は眼科等との連 携が必要な場合もあるが、かかりつけ小児科医が 主導的立場を維持することが重要である。境界領 域関連他科の診療が必要な場合には、かかりつけ 医の紹介状を持参するのが原則と考える。この ワークショップでは主導的にかかわるために必要 なことや工夫を話し合いたい。</p>	
WSタイプ：C	事前調査：無
実費徴収：無	当日参加：可
参加資格・条件・人数：制限なし。30人程度まで。	

WSのタイプ A：意見を出し合って product をつくるもの
 B：参加者と討議しながら理解を深めるもの
 C：AとBの中間型

9月2日(土) 14:00~16:30 <5>

32	地域の中の未来の小児科医院のあり方を考える!!
村上 博(医)	
<p>地域の中の未来の小児科医院のあり方を考える場にいたします。これからの小児科医院は、単に自院の運営のみならず社会的共通資本として、未来の地域コミュニティの中で重要な役割が期待されていると考えます。ワークショップではミッション・経営戦略・スタッフ育成・新事業創出などについて、チーム・コーチングやバランス・スコアカードなどを用いながら理解を深めたいと思います。ありきたりの小児科医院のあり方に物足りなさを感じている医者・看護スタッフ・NPOなどの法人・企業関係者・地域の人々の活発な参加を願います。“ワクワクする”ワークショップになることを願っております。</p>	
WSタイプ：B	事前調査：有
実費徴収：無	当日参加：可
参加資格・条件・人数：制限なし。20人程度まで。	

33	外来待合室における看護（その3）
吉本陽子(看) 立川稚子(看)	
<p>本ワークショップは、より具体的実践的な家庭看護の方法を伝授する「お母さんのための看護法」のリーフレット作成を目指し、今回3回目である。1回目のワークショップでは、各施設の外來待合室での問題点を把握した。2回目のワークショップでは、問題点としてあがった「スタッフ間で指導内容の統一ができない」ことについて事前調査をもとに検討し、5つのリーフレットを作成した。今回は、昨年10月より今年8月までの約1年間、昨年のワークショップで作成したリーフレットをそれぞれの施設で実際に使用し、追加修正を行っているものを再び検討し、リーフレットを完成させる。</p>	
WSタイプ：A	事前調査：有
実費徴収：有	当日参加：不可
参加資格・条件・人数：看護師のみ 外來にて看護指導を行っている方に限る。20人程度まで。	

34	小児科医と絵本（その3）
北原文徳(医) 高田修(医) 住谷朋人(医)	
<p>2000年の夏、大宮での日本外來小児科学会で「待合室の絵本」というWSが誕生しました。回を重ねるうちに、絵本が好きでたまらない小児科医が集まってきました。2003年の仙台、翌年の大分でのWSでは「小児科医と絵本」とタイトルを変更して、小児科医がより積極的に絵本と関わる試みを検討しました。園医をしている保育園へ出向いて読み聞かせをしたり、子育て支援の講演会で絵本を紹介したり、待合室で、おかあさん方と共同のオリジナル絵本を作ったり、個別健診でブックスタートと関わったりと、さまざまな活動が報告されました。昨年末に出版された『小児科医が見つけた えほんエホン絵本』（医歯薬出版）は、その集大成です。今年のWSでは、より深くより幅広く絵本の魅力を探ってみたいと思っています。</p>	
WSタイプ：C	事前調査：有
実費徴収：無	当日参加：不可
参加資格・条件・人数：医師に限る。20人程度まで。	

49	来て・見て・触って！ 病児保育室！
齊藤結花(保) 谷口美沙(看) 藤田雅子(育) 平田 愛(育) 福家順子(看)	
<p>病児保育室を併設する小児科医療機関は、徐々に増えてきていますが、情報交換の場は少ないのが実状です。今回のWSの企画をした『星川小児クリニック 病児保育室アニモ』はまだ1年ちょっとの経験しかありませんが、学会会場からも近いので、実際の病児保育室をWS会場とし、打ち解けた雰囲気の中で各施設の紹介をしたり、日頃の活動などを話し、お互いの施設の参考になればと思いました。もちろん「病児保育に携っていないけれど、病児保育室ってどんなものだろう？」って関心がある方のご参加も歓迎します。好奇心のポケットがおみやげでいっぱいになること受け合いです。</p> <p>WSに参加されない方も施設見学は可能です。33ページを参照してください。</p>	
WSタイプ：B	事前調査：有
実費徴収：無	当日参加：不可
参加資格・条件・人数：保育士・看護師に限る。	

職種略号一覧

(医)医師 (歯)歯科医師 (看)看護師 (薬)薬剤師 (保)保健師
(育)保育士 (事)事務系 (心)心理士 (栄)栄養士 (他)その他

9月3日(日) 9:15~11:45 <1>

拡大 WS3 すてきなクリニックになるために (ドクターとスタッフの協働の輪)			
山本 淳(医) 横田俊一郎(医) 佐藤順一(医) 中野康伸(医) 赤平幸子(看) 関本千代子(看)			
<p>こんどの年次集会のテーマのひとつが、「進めよう協働の輪」です。</p> <p>これからの小児科クリニックをすてきにしていく、すてきなクリニックはもっともっとすてきにしていく、そのキーワードは、「ドクターとスタッフの協働」だと思います。</p> <p>毎日顔を合わせながら、お互いを理解し、クリニックを成長させていくには、ちょっとした気づかいやマナーはもちろん、相手を良く知る、相手の立場にたって考える、そして相手を大切にすることということがとても大切です。そして家族的なつきあいの中から、いつしか自然に共通の価値観も生まれてきて、一緒に働いていて良かったと思えるようになり、患者さんには「このクリニックに来てよかった」と感じてもらえるようになれたらうれしいですね。</p> <p>このWSでは、自分たちのクリニックをもっとすてきなクリニックにしたいと思っているドクター、スタッフが集まり、それぞれの思いを語り合い、いろいろな人の気持ちを聴いて、さらにすてきなクリニックになるために役立つ、横浜の外來小児科学会に来た心の記念になるような、そんな集まりにしたいと思っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 医療に関するモチベーションの共有 * 仕事と家庭の両立 * アイデアを実現するための方策 * スタッフに注意をするときの方法 * ミーティングの開催の方法 * スタッフからドクターへの要望の出し方 * 上手な職場での人間関係の作り方 <p>などをテーマに、プレゼンテーションやディスカッションをしようと思います。</p> <p>(拡大WS 1、2「すてきなあなたになるために」の高塚さんもコメントーターとして参加します)</p>			
WSタイプ：B	事前調査：有	実費徴収：有	当日参加：可
参加資格・条件・人数：職種は全く問いません。多くの方の御参加をお待ちしています。			

35 こだわりの“イメージづくり”	
倉重 弘(医) 轉馬博之(医) 谷石咲子(事)	
<p>クリニックの看板・ロゴマーク、外観、待合室などの工夫、またはクリニック内で開かれる患者向け勉強会・イベントなど、日常の医療・看護とは少しはなれた部分で、各施設がイメージづくりの一端として、趣向をこらしていることなどを発表していただきたいと思っています。また、ちょっとしたアイデアや、新しい試みなども紹介していただき、参加施設が、お互いの参考になればと思い、企画しました。事前アンケート調査(クリニックの外観や待合室、イベントの写真など)の結果を用いながら、明るく実りあるワークショップにしたいと思っています。</p>	
WSタイプ：B	事前調査：有
実費徴収：無	当日参加：可
参加資格・条件・人数：制限なし。40人程度まで。	

36 乳幼児健診でリサーチをしてみませんか	
伊藤智子(医)	
<p>乳幼児健診の場でリサーチをしてみませんか。リサーチの手法は質的な解析。質的な解析とは、数字ではない「言語」や「画像」などの指標を科学的に分析し、影響を与えている環境要因や、隠されている行動の意味を解明する研究方法です。例えば、あかちゃんは這うことで「怖さを知る」と推測されています。確かに、あかちゃんが這うことができるほど、止まる行動が目立ち、まるで周りを見渡し、注意を払っているようです。このWSでは、事前に参加者にアンケートをとり、ターゲットエイジを絞って、乳幼児健診の場で活用できる質的研究の手法を用いたリサーチを、実際に行います。質的研究を肌で感じていただくWSを考えています。参加者は皆初心者です。是非ご参加ください。</p>	
WSタイプ：C	事前調査：有
実費徴収：無	当日参加：不可
参加資格・条件・人数：制限なし。20人程度まで。	

WSのタイプ A：意見を出し合って product をつくるもの
 B：参加者と討議しながら理解を深めるもの
 C：AとBの中間型

9月3日(日) 9:15~11:45 <2>

37	「第2回 電話対応コンクール」 に参加しませんか？	
	沖原由起(事) 川井 進(医)	
<p>このWSではクリニックにかかってくる親からの道順や診察時間の問い合わせなどの電話に対する受け答えを想定した「電話対応コンクール」を行います。他医院のスタッフに自分の電話対応を評価してもらいます。また、他医院の電話対応を聞いて参考にする機会でもあります。「電話対応競技者」として、また「審査員」として参加してみませんか？日常業務でありながら学ぶ機会の少ない電話対応の基本的な言葉遣いを学びます。そして、親から「感じが良かった」と思われる電話対応を身に付けます。</p>		
WSタイプ：B		事前調査：有
実費徴収：無		当日参加：不可
参加資格・条件・人数：事務に限る。20人程度まで。		

38	待合室でのプリパレーション1 ～くすりぎらいのこどもたちに	
	梶原香菜子(育) 藤野由佳(育) 木下博子(薬)	
<p>小児科待合室で保育士の専門性は、どのように発揮されているのでしょうか。病棟だけでなく外来においても、こどもたちの不安・恐怖心を軽減すること、その子なりに自身が受ける医療内容を理解・納得・受容してもらうことは、保育士としての重要な役割と考えます。そこで小児科待合室でのプリパレーションを提案します。小児科外来では、服薬・処置・検査などに対するプリパレーションが必要と考えますが、今回は、くすりぎらいのこどもたちを保育士としてどのようにサポートできるかを考え、そのためのプリパレーションについて検討していきます。事前調査も行き、テーマ・内容・方法など意見を出し合い、プロダクトを作っていこうと考えています。</p>		
WSタイプ：A		事前調査：有
実費徴収：有		当日参加：不可
参加資格・条件・人数：保育士、看護師、事務に限る。20人程度まで。		

39	外来診療に家族学の知識と技術を導入してみよう	
	原 朋邦(医) 田中久也(医) 佐古篤謙(医)	
<p>All Parents Need Family Pediatrics これは今年の Pediatrics 1月号の Commentaries にあった表題の一つです。私どもの日常の診療の活動には患者家族への関わりは不可欠であり、基本をなすものだと考えられます。それには家族学を基盤とする知識や技術を学ぶことが重要です。従来の小児科学の教科書や授業ではこの部分についてはほとんど触れられていなかったと考えます。日常の活動の質の向上を目指して学んでみようではありませんか。基本的な面について、三重大学総合診療部竹村洋典助教授に講義をしていただき、私どもの日常の活動にどのように導入できるか討議を加えて今後継続的に学ぶ基盤を創りたいと考え計画いたしました。</p>		
WSタイプ：B		事前調査：有
実費徴収：有		当日参加：不可
参加資格・条件・人数：医師を中心に、看護師、心理士も可。40人程度まで。		

40	小児科外来活動から地域支援活動へ (その3)	
	倉信 均(医) 岸本裕子(医) 平井敦子(看) 蟹沢典子(看)	
<p>全国各院所で実施されている診療以外の院所活動また地域支援活動について、お互いに論議を深め具体的な活動について学び合いたい。3年目ですが、初めて参加される方も歓迎します。院内での育児支援活動の報告、また地域での様々なネットワークづくり、園医・校医としての取り組み、病児保育の現状・課題などいくつか発表していただき、その後参加者で話し合いを持ちます。各院所すぐに実施できるものを何か獲得していただくのが目標です。今回は、それに加え、毎年参加していただいている院所の方々から、いくつか1つのテーマについて、特徴ある活動を報告していただくと考えています。</p>		
WSタイプ：B		事前調査：有
実費徴収：無		当日参加：不可
参加資格・条件・人数：制限なし。40人程度まで。		

職種略号一覧

(医)医師 (歯)歯科医師 (看)看護師 (薬)薬剤師 (保)保健師
(育)保育士 (事)事務系 (心)心理士 (栄)栄養士 (他)その他

9月3日(日) 9:15~11:45 <3>

41	外来診療場面のストレスをコメディカルスタッフの視点でリサーチしてみよう	
	後藤敦子(医) 関 京子(看) 清水章江(心)	
<p>注射、長い待ち時間、病状宣告など、外来診療では患児・保護者にストレスを強い場面が多い。このようなストレスを解析するには、看護職、事務職、心理士などの各コメディカルスタッフの視点が重要である。より快適な外来のために、コメディカルスタッフによる「外来診療におけるストレス解析」を進めてみたい。ストレス測定の数値として唾液アミラーゼ測定器が市販されている。(株)ニプロの協力を得ており、可能な参加者には事前に測定器「COCORO METER」を試用してもらう。WSでは、当日参加者も加えてグループ毎に討議し、どのようなリサーチが可能かを検討したい。</p>		
WSタイプ：C		事前調査：有
実費徴収：有		当日参加：可
参加資格・条件・人数：制限なし。30人程度まで。		

42	学校医は学校へ行こう！ —学校保健・地域保健との連携・協力	
	岩田祥吾(医) 谷村 聡(医)	
<p>過去2回のWSにおいて「学校医が健診以外に行う重要な職務」として、1) 充実した健康相談、2) 健康教育への参画、3) 学校保健委員会の活性化、があげられ、特に養護教諭との連携・協力が重要視されました。さらに学校や地域・行政との「橋渡し役」、「舵取り役」である学校医のニーズを確認し、機運は高まりつつあります。しかし現状は学校現場も医療現場も混乱ばかりが先行し、子ども達の心身の健全育成のためには、より一層の連携作りが求められています。今回のWSで、新しい学校医の実践例を語り合いませんか。話しを聞いてみたい、学校医活動の参考にしたいという方もぜひご参加ください。前回同様WS用のメーリングリストも活用いたします。</p>		
WSタイプ：C		事前調査：有
実費徴収：無		当日参加：不可
参加資格・条件・人数：制限なし。30人程度まで。		

43	あなたの声を聴きたくて —子育て相談や親の不安へのカウンセリング的対応を学ぶ (パート3)	
	河村一郎(医) 内海裕美(医) 佐久間秀人(医)	
<p>昨年好評を得たWSの第三弾です。日常の診療でお母さん方から子育てについての悩みなど相談を受けることも多いかと思います。そんな時どのような対応をしてよいのか迷うこともありますよね。逆に医療者の言葉に傷ついてしまうお母さん方もおられるのではないのでしょうか。このWSは、日常遭遇しうる場面を想定してロールプレイを行い、それを通してカウンセリングスキルを学んだり、患者さんの気持ちを理解したりするものです。ビデオを再生しながら心理士の先生や参加の皆さんにコメントしていただけます。昨年と同様みんなでロールプレイをしてみたいと思います。さあ、みんなでカウンセリングマインドを学んでみませんか？</p>		
WSタイプ：B		事前調査：有
実費徴収：有		当日参加：不可
参加資格・条件・人数：医師、看護師に限る。30人程度まで。		

44	子どもの睡眠障害 (その3)	
	荻野高敏(医)	
<p>子どもの夜更かしが社会問題化するにつれて小児の睡眠への関心が高まっている。小児科医がよく経験する夜泣きや寝ぼけ、夜驚症といった従来の睡眠障害のみでなく、生活リズムの乱れ、自閉症スペクトルの睡眠障害、概日リズム障害など新しい問題が出始めている。実際には親から相談されても個人的体験に基づいた指導くらいしかできないことが多い。過去2回の当ワークショップで睡眠生理の基本、自閉症児の入眠・覚醒時刻の乱れ、睡眠時無呼吸症候群ではむしろ集中力低下や多動・攻撃性がみられることを学んだ。今回は埼玉医科大学総合医療センターの星野恭子先生の助言を受けながら、経験交流、発達へ及ぼす影響、介入の仕方などについて知識を深めたい。</p>		
WSタイプ：B		事前調査：有
実費徴収：有		当日参加：可
参加資格・条件・人数：制限なし。30人程度まで。		

WSのタイプ A：意見を出し合って product をつくるもの
 B：参加者と討議しながら理解を深めるもの
 C：AとBの中間型

9月3日(日) 9:15~11:45 <4>

45	外来に保育士の必要性は？ 興味と疑問のあるあなたと語りあおう!!	
	園田あつ子(育) 河島智里(育) 井手あおい(育)	
<p>外来に保育士を置く施設が年々増えてきています。では、外来に保育士がいればどんなメリットがあるのでしょうか？なぜ、外来に保育士が必要なのでしょう？今回は、外来の保育士に興味と疑問のある方々と討論したいと思います。</p>		
WSタイプ：A		事前調査：有
実費徴収：有		当日参加：不可
参加資格・条件・人数：制限なし。20人程度まで。		

46	小児科外来における子育て支援の可能性 —保育士と共につくる乳幼児健診	
	後藤洋一(医) 後藤素子(病後児保育室長) 今井玲子(育)	
<p>乳幼児健診をおこなっていて、個別指導の場がもっと持てたらと感じたことはありませんか？時間の制約もあり画一的な指導になっていませんか？そんなことを打開する方法として、乳幼児との接し方、生活リズム、しつけなど育児面での話し合いをもっとできる場を健診に導入することが一つあげられます。複数の保育園の園医をしていて気がついたことは、保育士はこどもの生活の実際をよく見ているということです。医師と保育士が、連携することにより、気軽に相談できる雰囲気とゆったりとした時間を確保することができます。当院での実践を紹介し、参加者の皆さんと子育て支援の新たな可能性などを話し合いたいと思います。</p>		
WSタイプ：B		事前調査：有
実費徴収：無		当日参加：不可
参加資格・条件・人数：制限なし。20人程度まで。		

47	full of smile —笑い溢れる外来にしませんか	
	木川直美(事)	
<p>病院へ来る子には検査や点滴・注射など嫌な事がいっぱい待っている。処置や処方でも病気が治っても心に元気は取り戻せるかな？病院スタッフが彼らにできることはなんだろう？そんな時「クリニックラウン」の存在を知りました。入院中の子ども達を道化師が訪問して笑いを宅配するんです。ハローウィンの日魔女に仮装したりクリスマスにトナカイの衣装で受付している私もクリニックラウンの一人かもしれない。笑いの溢れる外来にするにはどんな工夫をすればいいのかな。みんなで知恵を出し合って日本中の小児科外来がもっともっとスマイルいっぱいになったらいいな。</p>		
WSタイプ：B		事前調査：有
実費徴収：有		当日参加：不可
参加資格・条件・人数：制限なし。20人程度まで。		

48	外来で学生や研修医をいかに教えるか	
	関口進一郎(医) 和田 浩(医)	
<p>クリニックや外来での医学教育に関して、例年行っているワークショップです。これまでは外来で教育する内容（学習目標）やスケジュール（学習方略）に関して討論してきました。今回は学生や研修医に対する指導のスキルをテーマにしようと考えています。</p> <p>ワークショップの目標は、効果的な指導法と、避けるべき指導法を理解することです。ワークショップでは、まず、クリニックや外来での診療中に学生や研修医を指導する場合を想定してロールプレイを行います。次に、ロールプレイを演じて、あるいは見て、感じたこと、考えたことを討論します。</p> <p>医師にかぎらず、研修指導に携わる方の多数の参加をお待ち申し上げます。</p>		
WSタイプ：C		事前調査：無
実費徴収：有		当日参加：可
参加資格・条件・人数：制限なし。20人程度まで。		

職種略号一覧

(医)医師 (歯)歯科医師 (看)看護師 (薬)薬剤師 (保)保健師
(育)保育士 (事)事務系 (心)心理士 (栄)栄養士 (他)その他

9月3日(日) 9:15~11:45 <5>

30	診察技法をもう一度考えよう2 (人のふり見て我ふり直せ)	
	藤田 位(医) 日野利治(医) 木下 洋(医)	
<p>小児科診察室に求められるもの、それは親と子どもの心に配慮したコミュニケーションです。私たちは先輩の見よう見まねで殆ど独学で診察技法を学んできました。ここで改めてもう一度自分の診察を客観的に見直すことも大切だと考えます。WSでは自分の診察場面をビデオに撮ってきていただき、OSCEなどの専門家を入れみんなでチェックしていきます。小児科外来で求められる診察技法をみんなで勉強していきましょう。</p>		
WSタイプ：B		事前調査：有
実費徴収：有		当日参加：不可
参加資格・条件・人数：医師に限る。参加者は15名以内。		

WSのタイプ A：意見を出し合って product をつくるもの
B：参加者と討議しながら理解を深めるもの
C：AとBの中間型